



ゆたかクリニック病児保育室だより

2022年12月 第4号

営業日:月～金(土日祝日は休業)

営業時間:8:00～17:30

所在地:小倉南区湯川新町4丁目25-2

TEL:(093) 932-7550



★今回のテーマは「**肺炎をおこすウイルス感染症について**」です。

インフルエンザウイルス(以下、インフル)、RSウイルス(以下、RS)、ヒトメタニューモウイルス(以下、ヒトメタ)について解説します。内容は、

- インフル、RS、ヒトメタ ってどんな病気なの？
- 保育園ではどのような感染対策をしているの？
- 登園基準はどうなっているの？
- 診断する検査は、どんなタイミングでやっているの？

です。保護者の皆様の知識の整理になれば幸いです。

「病児保育って何？」

「利用したい時はどうしたらいいの？」

「何か準備するものはある？」

そんな疑問をお持ちの方は、ぜひ

当院のホームページをご覧ください。



●インフル、RS、ヒトメタ ってどんな病気なの？

インフル・RS・ヒトメタともに4～6日続く高熱(39～40℃)、徐々に悪化する咳・鼻汁を主な症状とし、肺炎になりやすい病気です。重症になると酸素吸入が必要になり入院するケースもあります。いずれも毎年流行し、接触感染や飛沫感染で他人にうつっていきます。

インフルにはタミフル等の特効薬(病気が早く治る、重症化を予防できる薬)があるため、適切に診断・治療がなされれば2日程度で解熱し肺炎になることもありません。一方、RS・ヒトメタには特効薬が無いので、高熱やひどい咳の期間は短くなりません。治療は「ひどい咳や高熱を軽くする薬」が使用されます。

医師は周辺地域のインフル・RS・ヒトメタの流行状況や、患児の症状の経過、診察所見を総合的に判断して各病気を疑い、必要な時期に検査をおこなって診断しています。

●保育園ではどのような感染対策をしているの？

インフル・RS・ヒトメタともに、新型コロナと同じ感染対策が有効です。しかし、保育園には以下①～④のような根本的に解決できない問題があり、接触感染や飛沫感染の防止対策を厳密には実施できないジレンマがあります。

- ①園児同士が濃厚に接触することが多い。
- ②自分の手や手に触れた物を舐める園児の行動を防止できない。
- ③マスク着用や衛生的な手洗いを園児は正しく実施できない。
- ④症状はないが病原体(ウイルス)をばら撒き、他児に感染させている無症状感染者が存在する。

されど、以下①～③の対策を粘り強く・正しく継続することは、感染の拡大防止に極めて重要です。(※「保育所における感染症ガイドライン(2022年10月一部改訂)」より抜粋、一部改変)

①マスク

以下が国の方針ですが、最終的には保護者の意向が優先されます。

- ・ 2歳未満の園児には「着用を勧めない」。
- ・ 2歳以上の園児には「着用を一律には求めない」が、園内で感染症が発生した場合は「可能な範囲での着用を求める」ことができる。
- ・ 午睡中・熱中症が心配される環境・屋外での活動・プールでは「マスクを外すことを勧める」。

②手指衛生(手洗い、消毒など)

- ・ 石けんを用いた流水による手洗い
- ・ 手指消毒用アルコールによる消毒

③環境管理

- ・ 手が触れる物・場所の消毒
- ・ 換気

●登園基準はどうなっているの？

保育園の登園基準は、「学校保健安全法」や「保育所における感染症ガイドライン」の規程に基づき、全国統一の基準として、保育園や医師の患者指導で利用されています。

登園基準は患者本人の健康回復に要する期間、または他人に感染させるリスクが低くなる時期の目安です。したがって保育士が基準を熟知し、保護者が基準どおりに行動しているかを保育士が確認することは、保育所の衛生管理上とても重要な仕事です。

【インフルの登園基準】

乳幼児は、発症後5日経過かつ解熱後3日経過した翌日から登園可。
※小学生以上は、発症後5日経過かつ解熱後2日経過した翌日から登園可。

【RS、ヒトメタの登園基準】

症状が安定し、全身状態が良くなった(つまり治ったら)登園可。

●診断する検査は、どんなタイミングでやっているの？

インフル・RS・ヒトメタは、それぞれ診断用に抗原検査キットが市販されており、一般の診療所や病院で使用されています。ところで抗原検査が陽性になるには、一定数以上のウイルス量が必要です。つまり病初期(未だウイルスの増殖が少ない時期)ではウイルス量が少ないため、検査しても陰性となる場合があります(これを偽陰性と言います)。

抗原検査が陽性であれば、その病気に罹っていると確定できます。診断を確定させるメリットには、①診断が分かれば特効薬を処方できる場合がある、②診断が分かれば今後の病状の見通しがつく、があります。

【①の特効薬について】

インフルにはタミフル等の特効薬があるので、病初期より積極的に抗原検査をおこない、陽性確認後すみやかに特効薬を飲み始めるのが得です。ただし、早すぎる検査は偽陰性になる場合があるため、検査時期は医師に任せるのが妥当です。一方、RS・ヒトメタには特効薬がないので、病初期に抗原検査をおこなう意義はありません。

【②の病状の見通しについて】

RS・ヒトメタは 39℃以上の熱が4～6日続くことが多い病気です。通常のカゼは2～3日で解熱することが多いため、3日経っても解熱しない場合には通常のカゼ以外の病気を考える必要があります。このタイミングでおこなったRSまたはヒトメタ抗原検査が陽性であれば、4～6日程度高熱が続くことは普通のことなので、解熱にはもう2～3日かかるとの見通しがつきます。



病児保育室の見学をご希望の方は
お気軽にお問い合わせください♪